



平成 23 年 2 月 14 日

各 位

上場会社名 ニチハ株式会社
代表者 代表取締役社長 井上洋一郎
コード番号 7943 (東証一部・名証一部)
問合せ先 経営企画部執行役員 吉田康則
(TEL 03-5205-3911)

国内クレジット制度の事業承認取得とCO₂排出削減事業の開始に関するお知らせ

当社グループは、今般、下記のとおりニチハマテックス株式会社（当社子会社、本社：愛知県名古屋市中区、社長：山田 俊一、以下「ニチハマテックス」）習志野工場において窯業系外壁材業界初の国内クレジット制度の事業承認を取得し、オリックス株式会社（本社：東京都港区芝 4-1-23 三田NNビル、社長：井上 亮、以下「オリックス」）を共同実施者としてCO₂の排出削減事業を開始し、本格的に環境施策に着手することといたしましたのでお知らせします。

記

1. 事業開始の経緯

窯業系外壁材トップメーカーの当社グループは、従来、環境負荷低減への取り組みを企業経営の重要なテーマと位置づけ、国や地方自治体の政策動向に合わせ、グループ全体で環境施策に注力してまいりました。一昨年より、当社及びグループ会社の生産工場から排出するCO₂を大幅に削減する施策の一つとしてクリーンエネルギーへの燃料転換を推進し、平成20年度には、ニチハマテックス習志野工場において、ボイラー燃料を灯油から都市ガスに転換することで年間894トンのCO₂排出量削減を達成いたしました。また、昨年は、当社いわき工場においてもA重油からLNGサテライト設備導入により高効率ガスへの燃料転換を実施し、年間6,200トンのCO₂排出削減効果を見込んでおります。

2. 新たな事業の内容等

今般、環境施策推進の一環として、上記習志野工場におけるCO₂排出量削減に係る取り組みを契機に、窯業系外壁材業界初となる国内クレジット制度の事業承認を取得（1月27日に国内クレジット認証委員会にて認証取得）し、オリックスを共同実施者としてCO₂の排出削減事業を開始することとなりました。

また、現在モニタリング中である当社いわき工場においても、本年4月以降に国内クレジット制度の事業承認申請を予定しております。

さらに、製品に関する環境施策として環境省が推進するJ-VER制度（認証された間伐促進型プロジェクト）によりクレジットが発行された木材チップを原料を使用することを検討しております。当社グループは、今までも木質系繊維混入セメント珪酸カルシウム板を製造する際に、国産の木材チップのみを使用してまいりました。また、一昨年より率先して間伐材の利用を始めており、この間伐材の利用が森林におけるCO₂吸収促進に寄与するのみならず、木材の生長過程で吸収したCO₂を製品内に取り込み、長期的に固定できることから、国が推進する環境政策に適合したビジネスモデルとして他社にはない特徴を有しています。

そこで、現在カーボンオフセットを題材に、これら当社グループ製品を使用することで、カーボンオフセットハウス（商標登録済み）と称して各家庭や事業所から排出されるCO₂の一部をオフセットしたり、自動車用内装下地材として生産している国産の木材チップのみを使用したハードボード（硬質繊維板）においても、オフセットカー（商標登録済み）と称して自動車利用によって発生する排ガス中のCO₂を一部オフセットすることができる仕組みづくりを計画しております。

【参考資料】 J-VER 制度

J-VER 制度とは、国内のCO₂排出削減・吸収プロジェクトによる温室効果ガス排出削減・吸収量のうち一定の基準を満たすものを、クレジットとして認証する制度のことをいいます。

2. 今後の見通し及び業績への影響

当社グループは、ポスト京都議定書を視野に入れ、今後もグループ全体で生産工場におけるCO₂排出量削減に向けた取り組みやエネルギー原単位の見直しによる省エネルギー活動に加え、国が本格的に推進する間伐材並びに未利用森林資源の利用拡大によるCO₂の吸収・固定化に合わせたビジネスモデルの実現に注力していく予定です。これらの環境施策を推進することで、環境配慮型企業として業界をリードし、持続可能な循環型社会の実現を推進してまいります。

なお、本事業が当社グループの業績に与える影響につきましては、現時点では未定であります。

以上